

<1月 午年ワーク>



やさしい K-ART

2026年1月のテーマ《午年ワーク》

うまどし
午年にちなんで、かっこいい飾り馬を
えが
描きましょう！

<テーマを決める>

みんなが暮らしているこの日本には、「干支飾り」という風習があります。新しい年を迎えるにあたり、一年の厄災をその年ごとの干支が払ってくれるという言い伝えがあります。

馬は、力強さと行動力、成功を象徴する動物とされています。

2026年は午年です。みんなにとって、2026年が良い年になるように願い、玄関に飾れる午年の作品を作りましょう。

<問いを考える>

「干支ってわかるかな？」「今年は何年かわかるかな？」

「2025年の干支はなんだったかわかるかな？」

「家のどこかに干支の置物とか、作品を飾っているかな？」

「馬を見たことはあるかな？」「どこで見たことがあるかな？」

「馬ってどんな色の馬がいるのかな？」

など、干支と馬に興味を持たせるような質問をしましょう。

<環境をデザインする>

馬を描きましょうといっても、馬は簡単に描けるわけではありません。馬のフォームをした型と、鞍の型は事前に準備をして、馬、鞍を好きなように色付けしましょう。また、背景を塗った上に貼って作品の質を上げましょう。

1. キットパス
2. 馬パーツ
3. 鞍パーツ
4. キャンバス
5. ベビーパウダー





< 探究活動を実践し、記録する >

1/20 (4歳児)

「干支」「午年」であることを、4～5歳児クラスの子どもたちはきちんと答えられていました。今回は背景のみを塗る予定でしたから、キットパスで思いっきり塗る！そして、刷毛を使って水でキットパスをのばすしてマットな感じに仕上げることに集中しました。

新しい「刷毛」という道具を使いながら水で色をのばしていきませんが、水が多すぎると破けてしまうことに気づき、水の量を考えて使ったり、そのことを友達に教えてあげたりする姿が見られました。背景が仕上がってみんなで見比べたとき、一人ひとり色が違っていたことに驚いていました。

< 1月 午年ワーク > 実施報告 アンジェリカ田町保育園



< 探究活動を実践し、記録する >

1/20 (5歳児)

年長クラスは、思いっきり自由に塗って楽しむ子と、「こう塗りたい」「この色が良かった」と周りを見ながら作品作りをする子がいました。いずれにしても楽しく塗って、刷毛で色をのぼすことを楽しんでいました。「もっとやりたい」「馬は今日描かないの?」と作品作りにいつものように積極的でした。



< 探究活動を実践し、記録する >

1/27 (4歳児)

馬のパーツを塗り、鞍のパーツを塗り、最後に細かい毛並みをえんぴつで表現して、前回作った背景のパネルに貼って完成。作業工程で行うことが多い活動でしたが、しっかり完成しました。

馬は、白い馬、茶色い馬、ミックスの馬と、みんな思い思いの馬をカッコよく仕上げていました。

また、鞍を置くことでより馬っぽくなったところで、みんな作品にどんどん愛着が出ていたように思います。馬に名前をつける子がいたり、今回一緒に参加した保護者

の方も感心している雰囲気でした。とても素敵な縁起物の午年の作品が出来上がりました。



< 1月 午年ワーク > 実施報告 アンジェリカ田町保育園



< 探究活動を実践し、記録する >

1/27 (5歳児)

馬に早く色を塗りたい様子でしたが、いざ始めると少し躊躇して進まない場面もありましたが、エンジンがかかると一気にそれぞれの馬が完成していきました。保護者の方も興味深そうに見入っている様子でした。完成してとても嬉しそうだったのが印象的でした。